

平成27年度 8月定例会会議録

- ◎招集年月日 平成27年8月18日（火）
◎開催日時 平成27年8月27日（木） 午後3時06分～午後5時43分
- ◎場 所 信州高遠美術館 2階研修室
◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理人、平澤教育委員、田畑教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、酒井スポーツ振興課長、森田高遠長谷教育振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会（教育次長）

2 委員長あいさつ

3 委員のひと言（教育長）

- ・委員長から、関連して古い地名調査の中間報告会「地名から見えてくること」の講師谷川彰英先生について、地名研究の第一人者であり、地名を調べその調査成果を裏付けしていくために最適任の人選であるとの感想が述べられた。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長から、市町村教委と県教委との懇談の協議事項の「県警との連携」に合わせ、「市町村教育委員会と地元警察との連携」についても進めるよう通知が出ている。上伊那市町村教育委員会連絡協議会の場で、足並みをそろえて対応する必要があるので、判断を保留しておくよう指示があった。
- ・委員長から、今年の四季展の入賞作品は、地元の風景・事象を前面に描いた信州伊那高遠の四季展らしい素晴らしい作品が多くうれしく思うとの感想が述べられた。

第2 協議事項

(1) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・資料に基づき各課長より担当分を説明
- ・委員長から、9月の定例会で意見・質問等取りまとめるので、準備をしておくよう指示があった。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、26年度の調査から公表方法が変更され、「調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要」とされている。伊那市教育委員会として、どのように「保護者や地域住民に対して説明責任を果たす」ということを押さえておく必要がある。テスト結果をテストを受けた児童・生徒本人及び保護者に説明することで問題点を共有し、授業改善、クラスの改善を図っていくことが説明責任を果たすことであるとの考えから、学校別の成績などは公表しないとしてきたが、この取り扱いを継続することでよいか発言があった。
- ・全委員の賛同で、学校別の成績などは公表しない取り扱いを小中学校あて通知することとされた。
- ・委員長から、昨年度分の調査結果の概要に示された「改善のポイント」が学校現場で実践されていくことが重要で、ポイントとして示された「辞書や新聞資料を積極的に使う」「幅広く読書に親しむ活動や読書ノートをつける」「日記や生活記録を充実させる」「式の読み取りに課題がある。課題や文章問題を絵や図に描き表わして、自分なりに問題の構造を整理・発表する」「日常事象を算数・数学的な目で見える力をつける」等の指摘事項の実践状況を検証していく必要があるとの指摘があった。

第3 報告事項

(1) 伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」1学期のまとめについて

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・委員長から、細かく整理できているが、生活科や総合的な学習の時間との連動に留まらず、それらとの連動によって、子どもたちがどのような追究活動を起こし、どういう気づきに至っているかを記録して欲しいとの期待が述べられた。また、記録には学校名を入れ、各校の活動の様子が分かるようにするよう指示された。
- ・委員から、伊那市に赴任されたり、新任で、新たに「暮らしのなかの食」に取り組む先生方の苦労や支援して欲しいことなど生の声と課題に対してどんな工夫で乗り越えたのかを記録しておくことで、今後の活動に共通認識を持てる。児童・生徒の記録に加え、先生方の取り組みも集約して欲しいとの意見があり、指導主事より、先生が活動に取り組んでいく中での課題を中心に記録・報告していきたいとの説明があった。
- ・委員長から、11月4日の「暮らしのなかの食」の活動発表と内山節先生の講演を内容とする「実践発表会」に参加したいとの声が寄せられている。「実践発表会」の持ち方について9月の定例会の折にパンフレット、PR媒体の作成も念頭に計画を示して欲しい。初めての取り組みであり、ねんごろに計画を練り迎えたいとの指示があった。

(2) 伊那小学校給食調理場、西箕輪共同調理場改築工事について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、落札額と事業費総額の違いについて質問が出され、学校教育課長より、事業費総額として示したものは、予定価格である。事業費の95%に合併特例事業債を充当し、そのうち交付税として70%が措置されるとの説明があった。

(3) 伊那地区成人式実施報告について

(4) 生涯学習に関する意識調査について

(5) 「おいで塾」実施報告について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長職務代理者から、成人式で竜東と美篤に行った。竜東では主催者として式辞を述べ、美篤では来賓として祝辞を述べた。今後、どういう形になるのか質問が出され、生涯学習課長より、基本的に、教育委員会が主催しているのは竜西地区だけで、竜東地区は伊那公民館の主催となっている。伊那公民館の分掌地区が両地区に分かれているため、竜西と同じように竜東も教育委員会主催という形を取っているのではないかと説明があった。
- ・委員長から、成人式での定住促進につながる取り組みとして、県外大学などへ進学している新成人代表からの「伊那市へ戻ってきて頑張りたい。」というような意見発表を取り入れて欲しいとの要望が出され、生涯学習課長より、実行委員会等で検討するとの説明があった。
- ・委員長から、おいで塾でのボランティアが高遠高校と伊那西高校生だけであり、他校には呼びかけていないのか質問があり、生涯学習課長より、各公民館で計画しているが、高遠高校にはボランティアグループ、ボランティア制度があり、利用しやすさから活用していると思う。各校に呼びかけてみたいとの説明があった。
- ・委員長から、夏休みの宿題をある程度高校生が見てくれている。弥生や伊那北の生徒のなかには将来教師をめざす生徒もいると思う。キャリア教育の実践につながるものであり、是非実行委員会に声をかけるよう指示があった。

(6) 伊那谷の重要文化的景観地区のワークショップ開催について

(7) 第6回信州伊那高遠の四季展オープニング、授賞式について

- ・資料に基づき文化振興課長説明
(質疑なし)

(8) 第2回信州いなクロスカントリーレース・第5回伊那市トリムマラソン大会について

(9) 第33回市民駅伝イーナちゃん駅伝カーニバルについて

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、クロスカントリーレースへの参加申し込みで、岐阜県と愛知県からの申し込みが多いのは何故か質問が出され、スポーツ振興課長より、分析してな

いが、エリア的に程よい距離なのではないか。アンケート実施するので結果をみるとの説明があった。

(10) 親孝行の讃歌事業作文コンクールの応募状況について

- ・資料に基づき高遠長谷教育振興課長説明
- ・委員長から、募集期間等から応募の激減を危惧していたが、逆に増加うれしいとの感想が述べられ、高遠長谷教育振興課長より、小中学校の友好都市の千葉の児童・生徒が来なくなったことにより減少したが、市内の小中学校で頑張ってくれたとの説明があった。

(11) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

(12) その他

第29回伊澤修二記念音楽祭について
地名調査中間報告について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
(質疑なし)

市民体育祭あいさつ文案について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

「武田の里にらさき・ふるさとまつり」への参加について

- ・資料に基づき高遠長谷教育振興課長説明
- ・調整の結果、田畑委員が参加することに決定した。

匿名性を担保した授業評価と学校評価の実施予定アンケートについて

- ・教育長が口頭にて説明
- ・調整の結果、教育委員会として、匿名性を担保したアンケートは実施しない。ただし、各校の実情に応じ、校長が匿名アンケートが必要と判断した場合は、校長判断に委ねることを確認

5 その他（教育次長）

(1) 9月の日程について

(2) 10月の主な日程について

- | | | |
|------------------|-----------|---------|
| ・長野県市町村教育委員会研修総会 | 10月16日(金) | 午前9時30分 |
| ・伊那公民館開館式 | 10月21日(水) | 午前9時 |
| ・第3回総合教育会議 | 10月21日(水) | 午後3時30分 |
| ・10月定例教育委員会 | 10月29日(木) | 午後1時30分 |
| ・教育委員と教頭との懇談会 | 10月29日(木) | 午後3時30分 |
| ・第29回伊澤修二記念音楽祭 | 10月31日(土) | 午前9時 |

6 閉 会 (委員長)